

令和 5 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

英語 A

**R5 年度個別学力検査等
英語（A） 出題の意図**

I

（A）

人間のカロリー摂取を素材にした科学的な内容の英文の一節をとりあげ、指定された箇所の意味を的確に把握し、日本語で表現する力をみる。句のかかり具合や文の構造を正確につかんでいるか、分数表現や比較の表現、**now that** などの表現を理解して日本語で表しているかがポイントとなる。

（B）

創造性に対する理解の変遷を素材にした論説文の一節をとりあげ、指定された箇所の日本語への訳出を通してその意味が的確に把握できているのかを確認する。文の句切れ目や主部と述部の関係に着目し、長めの文の構造を正確につかんで理解しているかがポイントとなる。意味のとりにくい表現については文脈から推測する力が求められる。

II

色と感情との相関関係を素材にした科学的な論説文をとりあげ、文中に出てくるやや高度な語彙や句の意味を文脈のなかで把握する問題、文中の名詞句や代名詞が指す内容を正確に読みとっているかを確認する問題、問われた内容についての的確かつ簡潔に要点をおさえて日本語で説明する問題、本文中の各パラグラフの論点や情報の理解を試す問題、段落間の関係性と論の展開を把握し、文章全体の主旨を正確に理解する能力をみる問題などを通して、総合的な英語読解力を評価する。

III

効率やスピードを重んじる最近の風潮についてどう考えるか、利点もしくは問題点を1つ挙げて指定された語数の英語で論じる問題である。語彙力、構文力に加えて、自らの考えを論理的に構成された英文で明瞭に書く力を評価する。

IV

（A）

人間の共通性と相互理解の可能性について述べた哲学的な論説文の一節をとりあげ、高校までで学習した語彙を用いて日本語の概念を適切な英語表現に置き換える能力をみる。とりわけ、息の長い日本語の文を明確で自然な英語にするために必要な語彙力・文法力、そして文構造に注意を払いつつ論理的な英文を組み立てる力を評価する。

（B）

（イ）（文学部の志願者）

海外文学の楽しみ方という文学部志望者に関係の深い素材を扱った随筆文の一節をとりあげ、文章の趣旨を十分に理解した上で、その内容を明確に自然な英語で表すための語彙力、文法能力を総合的に評価する。対比や比較の表現を適切に用いること、比喩的な表現については、平易な語彙に柔軟に置き換える工夫も求められる。

（ロ）（文学部以外の学部の志願者）

人間の五感の文化的・歴史的な要素を素材にした随筆文の一節をとりあげ、指定された箇所を適切な英語の語彙と構文を用いて、明確で自然な英語にする能力をみる。具体的な要素を列挙したあとにそれらを目的語として受ける場合の句のつながりの工夫や、主部が長い英文をうまく述部とつないでわかりやすく構成する工夫が求められる。